

News



THE RITZ-CARLTON

OSAKA

お問い合わせ：

PR ディレクター 西田 なお子

naoko.nishida@ritzcarlton.com

PR マネージャー 津田 みな美

minami.tsuda@ritzcarlton.com

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-25

TEL：06-6343-7565 / FAX06-6343-7081

2016年12月22日（木）

ザ・リッツ・カールトン大阪にて 豪華なアンティークアートと文化に触れる旅を体験

ザ・リッツ・カールトン大阪のインテリアコンセプトは「18世紀の英国貴族の邸宅」。“もうひとつの我が家”の雰囲気味わっていただけるよう、館内には彫刻や陶磁器を置くスペースを多く配し、アンティークの美術品や絵画などが計 450 点程、飾られています。

絵画は、イギリスのヘンリー・ジョン・イーンド・キング、ピータ・マクナブ、ウイリアムス・アシュフォード、ベルギーのフランソワ・フェルハイデンなど、18、19 世紀ヨーロッパ作家の作品が中心で 18 世紀頃の風景画、人物画が多く、落ち着いた雰囲気を醸し出しています。代表的なものに、1900 年代初頭のもので、フロントに飾られているドイツの作家ハーマン・コッホの「突然の来訪者」や、1600 年代前半に活動していたオランダの作家、ポーラス・モレルスによる作品で、ザ・ロビーラウンジに飾られている「貴婦人の肖像画」などが挙げられます。

ロビーに一步入ると、豪華なペルシャ絨毯、チェコ産のクリスタルシャンデリア、イタリアから取り寄せた美しい大理石の床が紳士淑女の皆様をお迎えします。重厚感あふれるインテリアに調和する暖炉や、ウエッジウッド社製のアンティーク食器「インディアン・ツリー」の並ぶ棚が、“わが家”の温かい雰囲気を作り出しています。

ホテル館内至るところに施されたミルワークは、特殊なアンティーク塗装を必要としたため、米国より輸入。壁には、マホガニー、ノッティパイン（米松）にアンティーク仕上げをかけたものや桜の木、パブリックスペースの女性用化粧室の床には、珍しいノルウェー産のピンク大理石を、それぞれ使用しています。また、中国料理「香桃」には、唐時代の陶器製騎馬像や清朝の古代刺繍布、日本では珍しいスナッフボトルなどが置かれています。

ザ・リッツ・カールトン大阪では、ゲストの皆様に館内のアートを存分に楽しんでいただくため、毎週水曜日夕方午後 5 時より約 1 時間、ご宿泊者様ならどなたでも予約不要で参加できるアートツアーを開催しています。(1F コンシェルジュデスク集合)

18、19 世紀のアートはいつの時代にも通じる、時を越えても永続的に息づく、人生の豊かさや質の高さを感じさせてくれる芸術品です。その質の高さは、リッツ・カールトンが提供するサービス哲学にも通じ、お客様の心に残る豊かな体験をお届けできる一助になると信じています。

ザ・リッツ・カールトン大阪は、ホテル王セザール・リッツのサービス哲学を受け継ぐ、国際的なホテルグループ、リッツ・カールトンの日本第一号として、1997 年 5 月に開業いたしました。18 世紀の英国貴族の邸宅を感じさせる洗練された空間、五感を満たすお料理の数々、そして世界中で高い評価を得るリッツ・カールトンならではのきめ細やかなサービスで、お客様にユニークで思い出に残る、パーソナルな体験をご提供いたします。

###